

## — 学 会 録 事 —

## 1. 1991・92年度会長及び評議員選挙

去る8月28日に投票用紙と選挙人名簿を発送し、次期会長と評議員の選挙を実施した。9月15日に投票を締め切り、9月17日に石川依久子・岡崎恵視（東京学芸大学）両氏の立会いのもとに開票が行われ、次の方々が選出された。

会長 有賀祐勝

評議員 館脇正和・増田道夫（北海道地区）

小河久朗（東北地区）

井上 勲・山岸高旺・渡辺 信（関東地区）

石川依久子・福島 博（東京地区）

岩崎英雄・喜田和四郎（中部地区）

榎本幸人・中原紘之（近畿地区）

大野正夫・月舘潤一（中国・四国地区）

香村真徳・右田清治（九州地区）

## 2. 日本藻類学会秋季シンポジウムと懇談会

1990年10月1日、日本植物学会第55回大会関連集会として日本藻類学会秋季シンポジウムが横浜康継（筑波大学）・片山舒康（東京学芸大学）の両氏を世話人にして、静岡市のクーボール会館で開催された。座長は有賀祐勝氏（東京水産大学）で、前川行幸氏（三重大学）による「紅藻の生育深度と紫外線」と、岡崎恵視氏（東京学芸大学）による「海洋における藻類の炭酸カルシウム沈着と地球環境」の2つの講演があった。全国から60名の参加者があり、1時間半にわたって講演と活発な論議が行われた。

シンポジウム終了後、引き続き同会館において懇親会が開催された。会は世話人の横浜康継氏の開会の辞に始まり、小林 弘会長の挨拶と地元静岡の山田信夫氏（東海大学）の乾杯の音頭で幕を開け、料理を楽しみながら2時間近くにわたってなごやかに行われた。

シンポジウム参加者は次の通り（○印は懇親会出席者）。

秋岡英承、○鯉坂哲朗、足立恭子、○有賀祐勝、石上三雄、○石川依久子、○市村輝宜、○出井雅彦、○井上 勲、猪熊正則、○恵良田真由美、○太田雅隆、大森長朗、○岡崎恵視、○奥田武男、○高 坤 山、○加崎英男、○片山舒康、○川井浩史、○河合正充、○小亀一弘、○小林 弘、○坂西芳彦、○澤口友宏、○白岩善博、新庄尚史、○鈴木章方、○瀬戸良三、立沢秀高、○都築幹夫、○徳田 廣、○長島秀行、○中西弘一、根木由美子○野崎久義、○能登谷正浩、○馬場將輔、○原 慶明、○福田育二郎、○藤田大介、○本多大輔、○前川行幸、正置富太郎、増田道夫、○松本正喜、○真部永地、○真山茂樹、マリベル・ディオニシオ・セセ、○三浦昭雄、三浦有樹、○御園生拓、○本村泰三、山内貞次、○山岸高旺、山田尚志、○山田信夫、○山中良一、山本正之、○横浜康継、○渡辺 信（50音順）

横浜康継・片山舒康氏には、会場の手配から当日の運営にわたる全てに行き届いた配慮を頂いた。記してお礼を申し上げる。

## 日本藻類学会編集委員会移転のお知らせ

1991年1月1日から編集委員会の宛先が変わります。1991・1992年度は、「藻類」への投稿原稿の送付ならびに編集関係の連絡は下記宛をお願いします。

〒184 小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学部生物学教室内

日本藻類学会編集委員会 Tel. 0423-25-2111（内線 2665, 2672, 2667）

## Change of Address of the Editor

The new Editor of the Japanese Journal of Phycology for 1991-1992 is Prof. Ikuko Shihira-Ishikawa, Tokyo Gakugei University. Starting in January 1991, manuscript to the Journal and related correspondence should be addressed to:

Prof. Ikuko Shihira-Ishikawa  
Department of Biology,  
Tokyo Gakugei University,  
Nukuikita-machi, Koganei-shi,  
184 Japan

— 会 員 移 動 —  
新 人 会

住 所 変 更

訃 報

本会会員 竹本常松氏は去る1989年1月23日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。 日本藻類学会

本会会員 遠藤光治郎氏は去る1989年8月20日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。日本藻類学会

## お 知 ら せ

第 4 回国際藻類学会議  
Fourth International Phycological Congress

第 4 回国際藻類学会議は1991年 8 月 4 -10日にアメリカ North Carolina 州 Durham の Duke University で開催されます。会議では15の Symposia と contributed paper の session および会期前後の excursions が計画されています。

参加される方は下記の事務局に直接申込むか、日本交通公社に代行を委託してください。登録料は1991年 2 月 1 日までは270ドル、それ以後は340ドルとなっています。申込み用紙は Second Circular についています。

事務局 The Secretariat  
Fourth International Phycological Congress  
Department of Botany  
Duke University  
Durham, North Carolina  
U.S.A. 27706  
Tel (919) 684-3375 (Searles)  
Fax (919) 684-5412 (Searles)

なお、日本では日本交通公社を Official Travel Agent に指定することにしました。会員には日本交通公社からの連絡が届く筈ですが、サーキュラーの請求や登録の代行などを含めて、お問合せは次のところをお願いします。

〒100 東京都千代田区麹町4-3-5  
日本交通公社 麹町支店  
国際会議センター  
担当：石井・花山  
Tel 03-239-9286  
FAX 03-239-9285

(北大・理 吉田忠生)

第14回国際海藻シンポジウム  
XIVth International Seaweed Symposium

第14回国際海藻シンポジウムは、1992年 8 月16-21日にフランスのブルターニュ地方で開催されます。16-18日はブレストで、また19-21日はサンマローに移動して行われます。本シンポジウムには、全体講演、招待者による特別セッション（“ミニシンポジウム”）、通常発表、ポスター発表、ワークショップ、海藻製品の展示などが含まれています。現在ならびに将来利用可能な大型藻と微細藻の生物学、これら藻類及びその製品の開発と利用などが中心テーマとなります。また、シンポジウム中日のエクスカージョンのほか、シンポジウム前後のブルターニュ地方・北ヨーロッパ・地中海地方などへのエクスカージョン、同伴者のための特別プログラムが検討されています。セカンドサーキュラーその他の案内を御希望の方は、下記事務局宛にご連絡ください。セカンドサーキュラー申込用紙は、東京水産大学藻類学研究室にもあります。

事務局 The Secretariat  
XIVth International Seaweed Symposium  
Universit  de Bretagne Occidentale  
Institut d'Etudes Marines-Facult  des Sciences  
29287 Brest-CEDEX France

Tel. 98-31-74-41 または 98-31-61-29  
FAX 98-31-61-31

(東京水産大 有賀祐勝)

### Acknowledgements to reviewers for Vol. 38

The Editorial Board is grateful to the following persons for their cooperation in reviewing the manuscripts submitted to the Japanese Journal of Phycology Volume 38.

S. ENOMOTO, Y. HARA, T. HORI, T. ICHIMURA, I. INOUE, W. KITA, H. KITO, H. KOBAYASI, M. MAEGAWA, M. MASUDA, A. MIURA, K. NISIZAWA, H. NODA, M. NOTOYA, M. OHNO, T. OKUDA, N. SAGA, Y. SAITO, I. SHIHIRA-ISHIKAWA, F. B. SOTTO, E. TAKAHASHI, M. TAKAHASHI, J. TANAKA, M. TATEWAKI, M. M. WATANABE, H. YABU, I. YAMADA, Y. YAMAGUCHI, Y. YOKOHAMA, T. YOSHIDA, M. YOSHIZAKI

### 正 誤 表 Errata

(第38巻 第3号 Vol. 38 No. 3)

	誤 For	正 Read
Front cover (Contents), L. 4	Masakazu Terawaki	Masakazu Tatewaki
Back cover (目次), L. 15	中島 泰	中嶋 泰
p. 273 left, L. 4 from bottom	wrightii	wrightii
p. 275 left, L. 1 from bottom	MACRAILD	MACRAILD
p. 286 right, L. 3 from bottom	べんであまのり	べんてんあまのり
p. 299 left, L. 9 from bottom	(J. AGARDH)	(C. AGARDH)
p. 302 left, L. 1	Menez	Meñez
p. 302 left, L. 14	KAMURA	OKAMURA
p. 302 left, L. 13 from bottom	あみごろも属	べにあみごろも属
p. 302 left, L. 11 from bottom	あみごろも	べにあみごろも
p. 313 right, L. 19	Fac. Hokkaido	Fac. Sci. Hokkaido
p. 317 middle, L. 10 from bottom	あみごろも属, 302	(削除 delete)
p. 319 right, add between L. 18 & L. 19 from bottom		べにあみごろも属, 302